



富田東小だより

郡山市立富田東小学校
学校便り No. 3
令和3年 6月 1日
文責：校長 齋藤和彦

県「非常事態宣言」5/31 解除 油断なく「感染予防対策」継続します

5月31日をもって、県の「非常事態宣言の解除」に伴い、学校の教育活動行動基準が次のように移行（緩和）されます。

- ① 6月1日～6月7日【移行期間】
 - ・感染リスクの高い学習活動は、可能な限り感染症対策を行った上で徐々に解除
- ② 6月8日からの対応
 - ・感染リスクの高い学習活動は、可能な限り感染症対策を行った上で実施

本校の教育活動の中では、これまでの予防策を再度見直し、油断なく慎重な判断と子ども達の健康を第一に対策継続していきます。

- 見合わせていた教育活動を可能な限りの感染症対策徹底の上で再開させます。
- ・家庭科の調理実習
 - ・バスを利用した校外学習
 - ・宿泊をとまなう宿泊学習や修学旅行
 - ・特設合唱部活動（6/2 保護者文書配付）

「インターネット＆SNS調査」のお願い 情報モラルの指導に活かします

例年実施しております福島県小学校長会による「インターネット＆SNS調査」を今年度も実施します。SNS等を利用した犯罪や事故に巻き込まれる子どもの数は県内で年間約2,000件にのぼります。

1.2年生のお子さんを持つ保護者の皆様にはお手数ですが調査回答にご協力をお願いいたします。（3～6年生は学校で調査します）

調査を通して県内の実態を把握し、情報モラルの指導や保護者と連携した指導の充実に活かしていきます。



「まさか..」
「こわいよ..」
「こんなことに..」



<学校生活の様子を掲載しています>
～子ども達の笑顔や活躍の姿です～
【富田東小ホームページ】検索ください



◆ 入学式・授業参観・体育祭..等々、保護者の皆様には、コロナ禍による学校行事参加への数々の制限やお願いをしてきました。皆様のご理解ご協力には心より感謝しております。今後しばらく続くであろう通常様式全面解除を待ちながら、保護者の皆様の「新しい子ども応援団～様式」の参考に..と掲載しました。（※ずっと前 私が2年生担任当時の出来事です）

ある学校での忘れられない「お母さんの姿...」

「先生..どうしてマラソン大会やるの?」～マラソン大会まで2週間...ある女の子（2年生）のこぼれ話でした。この女の子は、運動が苦手なわけではない子でした。マラソン練習も学級女子16人中、常に4～5番。

「いやだなあ..」授業中の表情もうつむきかげんに..。友だちに聞いても「??」。本人と話しても「...。」

マラソン大会3日前..。絵の仕上げで数人の仲良しが居残りしていた教室の話題は、「家の人が応援に来てくれるんだ」「6位入賞だと、たまごっち何とかバージョン買ってもらえるんだあ!」～楽しそうな雰囲気でした。

その子の家は共働きで、なかなか授業参観出席もむずかしい家庭でした。2年生だということにお弁当を自分で用意してきたこともありました。（でも、〇さんのことを想う姿は学級通信の返信から十分に伝わるお母さんでした）私が電話で〇さんの様子を伝えと、お母さんは、すぐに理由を察しました。（さすがです。）

「マラソン大会だから見に来て...友だちみたいに応援してほしい...」～「ごめんね。仕事の都合で遠くに...」

...大会当日朝、〇さんは、「おはようございます!」元気に...以前の明るい顔で教室に入ってきました。

「先生にだけ.....みんなには言わないで。」と、靴下を脱いで見せてくれました。

『フレ!フレ!〇ちゃん がんばってね。お母さん』 小さな足の裏にマジックで書いてありました。。

〇さんは懸命の走りで、ゴールに帰ってきました。学年女子30人あまりの中で、確か...5位でした。

ご褒美をねだる〇さんでも、物で褒めるお母さんでもありません。この日、夜遅くに仕事から帰ってきたお母さんと〇さんとのすてきな様子を想像しました。私の忘れられない保護者「お母さんの姿」です。